

20周年記念シンポジウム 開催要領（案）

- 日 時： 平成19年2月10日（土）午前11時
- 場 所： 愛媛県内子町 内子座
- 主 催： えひめ地域づくり研究会議
- 共 催： 愛媛新聞社、財団法人えひめ地域政策研究センター
- プログラム

10:30 開場 受付開始

- 1 記念イベント「川瀬歌舞伎」上演 「^{たまさん}玉三」（11:00～12:00）

※愛媛県指定無形民俗文化財 久万高原町より来演
《休 憩 ・ 昼 食》

- 2 開会行事（13:00～13:30）総合司会 代表運営委員 近藤 誠

- ① 主催者あいさつ 代表運営委員 若松進一
- ② 趣旨説明 シンポジウム代表 渡辺浩二
- ③ 来賓祝辞 内子町長 河内紘一氏

- 3 地元事例発表（13:30～14:30） 出演者紹介 近藤 誠

- ① 「石畳の歩み」 内 子 山田 定氏
- ② 「界限づくり活動」 五十崎 北地信彦氏
- ③ 「ODAの木プロジェクト」 小 田 高本師津雄氏

- 4 基調講演（14:40～15:50） 講師紹介 近藤 誠

テーマ： 「まちづくりと景観」
講 師： 法政大学名誉教授 田村 明氏

- 5 パネルディスカッション（16:00～18:00）

テーマ： 「21世紀 むら・まちのかたち
—ネットワークの再構築・愛媛—」

- ◇ コーディネーター 若松進一（代表運営委員）
- ◇ パネリスト 田村 明氏（法政大学名誉教授）
- ◇ パネリスト カロリン・フंक氏（広島大学助教授）
- ◇ パネリスト 岡田文淑氏（えひめ地域づくり研究会議相談役）

※冒頭でリレーシンポジウムの映像をバックに説明（20分）

- 6 閉会あいさつ 代表運営委員 塩崎満雄

- 7 交流会（18:30～） 司会 運営委員 大本昭裕

会 場： 松乃屋旅館

参加費用

- * シンポ受講料のみ 1,000円
- * 交流会費 5,000円
- * 宿泊費 未 定

— えひめ地域づくり研究会議 20周年記念 —

県土縦断リレーシンポジウム・2006

◇第1回 宇和島市 6月17日(土) —終了—

- ・世話人：森田浩二 山田佳代 田中俊二 池田大作 河島登紀
岡崎直司
- ・テーマ：「この地域の進む道—生き残るための方策—」
- ・会場：宇和島市総合福祉センター

◇第2回 新居浜市 8月27日(日) —終了—

- ・世話人：武田信之 近藤 誠 渡辺浩二
- ・テーマ：「笑顔で結ぶネットワークの再構築」
- ・会場：リーガロイヤルホテル新居浜 1F「菊の間」
(「第15回 全国お手玉遊び愛媛・新居浜大会」と同日、同会場で開催。)

◇第3回 今治市 11月11日(土) —終了—

- ・世話人：島崎義弘 井村雄三郎 小山田憲正 越智紀方
- ・テーマ：「絆(きずな)」
- ・会場：今治市玉川町「四国霊場第五十八番札所 仙遊寺」

◇第4回 松山市 11月26日(日) —終了—

- ・世話人：門田眞一 森原直子 塩崎満雄 浅井一郎治 橋詰飛香
- ・テーマ：「21世紀 むら・まちのかたち」
- ・会場：松山市道後「宝厳寺」

◆20周年記念シンポジウム 平成19年2月10日(土)

- ・世話人：渡辺浩二 安川 徹 大本昭裕 若松進一
- ・テーマ：「21世紀 むら・まちのかたち
—ネットワークの再構築・愛媛—」
- ・会場：喜多郡内子町「内子座」

◆上記シンポのほか、「20周年記念誌」の刊行も予定しております。

※発行時期：平成19年4月頃

平成 18 年 11 月 吉日

まちづくり関係の皆様へ

えひめ地域づくり研究会議

代表 運営 委員 若松 進一

同 塩崎 満雄

同 河島 登紀

同 近藤 誠

シンポジウム担当 渡辺 浩二

県土縦断リレーシンポジウム 2006 のご案内について

寒冷の候、皆様ますますご健勝のことと拝察いたします。日ごろは当研究会議諸活動に対し、格別のご指導・ご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当会議は、1987年（昭和62年）11月15日に内子座で産声をあげ、本年おかげさまで20周年を迎えることとなりました。これもひとえに会員並びに関係者の皆様の、暖かなご支援の賜物と、深く謝意を表する次第でございます。

当会議では、この20周年という大きな節目の年を記念し、愛媛新聞社との共催で、1ヵ年をかけて愛媛県内5ヶ所の会場を巡る「県土縦断リレーシンポジウム2006」を別紙のとおり開催しております。

シンポ開催の目的は、「愛媛県内を代表する地域づくり活動者団体自らが、過去の活動歴史を検証し、現在のまち・むらと自己像を総括するとともに未来の新たな愛媛の地平を展望することによって、県内外との地域づくりネットワークの再構築を図る」ことにあります。

時は奇しくも県内70市町村が20に減少・統合される平成大合併の激動期にあたり、すでに開催した4ヶ所の各リレー会場からは、反省や希望など切実な住民の生の声があがり、高度で熱心な討議がなされております。

子や孫に遺し、光輝き、誇れる郷土づくりのためにも、リレーでつないできた思いの集約地となる内子座シンポジウムにふるってご参加くださいますようお願い申しあげます。

どうか宜しくお願い申しあげます。

敬具

※裏面をご覧ください。